

# 埼玉県ユニバーサルデザイン 推進基本方針の概要



## どうして埼玉でユニバーサルデザインを進めるのか

- ◆ 全国有数の若い県だからこそ、今後、大きな変貌<sup>へんぼう</sup>を遂<sup>と</sup>げることができます。
- ◆ 国際化により国籍、言葉、文化の違う県民がたくさんいます。
- ◆ 福祉のまちづくりから新たに展開<sup>てんかい</sup>してきています。
- ◆ 資源の有効活用<sup>しげん ゆうこうかつよう</sup>のため、未永<sup>すえなが</sup>く使える施設、物（製品）などが求められています。
- ◆ 人々の心の結びつきが強い、思いやりのある社会が求められています。



## ユニバーサルデザインでねらうもの

- ◆ ユニバーサルデザインの視点で物事を考え、見直す気運<sup>きうん</sup>を育てていきます。
- ◆ あるひととき、ある場所だけでなく、連続<sup>れんぞくてき</sup>的に暮らしやすいまちを目指します。
- ◆ まちづくりや物（製品）づくりへの住民参加を進めます。
- ◆ 多様<sup>たよう</sup>な個人を尊重<sup>そんちょう</sup>し、住んでいる人にも訪れる人にも心地よい埼玉県にします。



## ユニバーサルデザインを進めるための手だて

- ◆ みんなで進めるユニバーサルデザイン（教育の推進、県民運動への発展<sup>はってん</sup>など）
- ◆ 安全、安心して移動<sup>いどう</sup>できる環境づくり（公共交通機関<sup>こうこうつうこうきかん</sup>の整備<sup>せいび</sup>、歩道の整備など）
- ◆ だれにもやさしいまちづくり（楽しめる公園の整備、安心・安全な住まいづくりなど）
- ◆ 訪れる人に配慮した施設づくり（建築物の整備、教育施設・警察施設の整備など）
- ◆ いきいき豊かな暮らしづくり（製品開発<sup>かいはつ</sup>、垣根<sup>かきね</sup>のない商店整備への支援など）

音声コード



活字文書紙上げ装置で情報を  
音声で聞くことができます